



【2024年度 実績】募金総額：5379万520円・奨学生応援サポーター数：1万1434人



パルシステムならではの社会体験プログラム

パルシステムの産直産地でのプログラムを、産地の協力により実施しました。株式会社パルラインにご協力いただき、送迎やプログラムの同行もしていただきました。新たな連携体制での開催が実現しました。子どもに勉強を直接教えるアスポート学習支援や、オンライン家計管理講座は、伴走支援団体に実施協力をいただく好評の企画です。

2024年度 実施プログラム

新宿ごはんプラス
アスポート学習指導（埼玉）
野菜くらぶ 農業体験（群馬）
パルシステム群馬商品展示会
ビーチクリーン（静岡）
310（さんいちまる）食堂（茨城）
能登半島地震緊急募金 オンライン報告会
無茶々園 農業体験（愛媛）
オンライン家計管理講座
にじいろぱるデイサービスボランティア（千葉）



9/14 野菜くらぶ
トマトの選定作業の様子

新たに「法人サポーター制度」創設

財団の継続的な運営のため、新たに法人サポーター制度を創設しました。事業の趣旨に賛同し、経済的支援により当財団の事業と運営を後援いただく法人のための登録制度です。2024年度の募集では13団体の登録と23口のご寄付の協力をいただきました。

広報関連

募金の状況などをお知らせするため、ホームページの本格運用を始めました。株式会社パルシステム・リレーションズに制作の協力をいただいています。パルシステム組合員向けには、10月3回全組合員向けチラシやパルソナル、注文完了画面のバナー告知などで募金を呼びかけました。

伴走支援団体報告会（3月21日）

伴走支援団体「特定非営利活動法人しんぐるべあれんとF・福島」「一般社団法人若草プロジェクト」「一般社団法人Masterpiece」の3団体から報告していただきました。奨学金があったことで精神的にも安定し、集中して学業に専念できたことなど支援する学生のようなすを伝えていただきました。



全組合員配付チラシ（10月）

学びをあきらめない
希望の輪が広がっています

組織概要（2025年7月1日現在）

・理事長
渋谷 温之（パルシステム生活協同組合連合会 理事長）
・副理事長
池端 美雪（パルシステム生活協同組合連合会 常任理事）
・専務理事
中根 裕（パルシステム生活協同組合連合会 執行役員）
・理事
針替 さおり（パルシステム東京 理事）
河瀬 亜希（パルシステム神奈川 常任理事）
津田 しのぶ（パルシステム千葉 運営担当理事）
久保田 真理子（パルシステム埼玉 理事）
細谷 時葉（パルシステム茨城 栃木 常任理事）
小谷 真弓（パルシステム山梨 長野 副理事長）
長井 文子（パルシステム群馬 理事）
柴田 寿鶴子（パルシステム福島 理事）
橋ヶ谷 緑（パルシステム静岡 理事）
高杉 知子（パルシステム新潟ときめき 理事）
・監事
大澤 忠（パルシステム連合会 内部監査室長）
亀山 裕二（パルシステム共済連 常勤監事）

【法人サポーター】生活協同組合パルシステム神奈川／生活協同組合パルシステム千葉／生活協同組合パルシステム埼玉／生活協同組合パルシステム茨城 栃木／生活協同組合パルシステム山梨 長野／生活協同組合パルシステム群馬／生活協同組合パルシステム静岡／株式会社パルシステム・リレーションズ／株式会社パルライン／株式会社パルシステム電力／株式会社パル・ミート／株式会社パルブレッド／株式会社パルシステム・イースト
【協力団体】生活協同組合パルシステム東京／生活協同組合パルシステム福島／生活協同組合パルシステム新潟ときめき／パルシステム共済生活協同組合連合会

発行：一般財団法人パルシステム若者応援基金
住所：東京都新宿区大久保 2-2-6 ラクアス東新宿 5 階
（パルシステム連合会地域活動支援室内）
URL：https://www.pal-youthfund.jp/
電話：03-6233-7235 2025年7月29日発行

2024年度 奨学生の状況

第1期23名、第2期10名の学生が新たに加わりました。3月には7名の学生が卒業しました。一方で退学を選択した学生も5名います。支援する学生は2024年度末で54名となりました。2021年の制度開始以来、支援学生数はのべ77名となりました。

第2期 理事会がスタート

6月16日第3回評議員会を開催し第2期がスタートしました。
第1号議案 評議員選任の件
第2号議案 理事及び監事選任の件
報告：2024年度事業報告及び収支決算報告
2025年度事業計画及び収支予算
閉会後の理事会で、渋谷理事長、池端副理事長、中根専務理事が選任されました。

2024年度 支援団体（20団体）

2024年度は新たに3つの伴走支援団体が加わり計20団体となりました。親代わりになっていつでも相談に乗ってくれる心強い存在の支援者がいることが、パルシステム給付型奨学金事業の大きな特長のひとつです。

連携生協	団体名	連携生協	団体名
東京	一般社団法人 若草プロジェクト	埼玉	一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク
	一般社団法人 Colabo	山梨・長野	特定非営利活動法人 こどもサポートやまなし
	一般社団法人 Masterpiece	群馬	一般社団法人 ヤング・アシスト
	NPO法人 ユースコミュニティ	福島	特定非営利活動法人 しんぐるべあれんとF・福島
神奈川	公益財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団		特定非営利活動法人 いわきFP・eーらいふ
	特定非営利活動法人 ブリッジフォースマイル	静岡	NPO法人 POPOLO
千葉	特定非営利活動法人 ちばこどもおうえんだん		シングルペアレント101
	認定NPO法人 Matsudo子どもの未来へwith us		一般社団法人 学生助けたいんじゃー
茨城・栃木	認定NPO法人 NGO未来の子どもネットワーク	新潟	一般社団法人 イノベーションみらい
	認定NPO法人 居場所サポートクラブ ロベ	連合会	一般社団法人 くらしサポート・ウィズ ※協同事務局

2024年度 卒業生からのメッセージ

2025年3月に7名の奨学生が卒業し、それぞれの道を歩みはじめました。
学生から届いた感謝のメッセージを紹介します。

パルシステムの皆様

伴走してくださった団体の皆様

この度はご支援いただき、誠にありがとうございました。学生生活の途中、生活が苦しく退学を視野に入れるほど追い詰められていましたが、皆様のご支援のおかげで、無事卒業を迎えることができました。

皆様からの恩を忘れずに、将来、私も社会に恩返しができるよう日々努力していきたいと思います。

ありがとうございました。



パルシステムの伴走支援があったおかげで、無事に卒業と就職をすることができました。奨学金をもらえたことで、学費や生活費の不安が低減され、またいざという時に誰かを頼れるという安心感があり、心強かったです。いただいたご支援に対して大きな感謝を胸に、これからは社会人として自分の足で人生を歩んで行きたいと思います。

2年間ありがとうございました。

保育・教育系の短大へ通っていました。保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の資格を取得するためにたくさんの実習がありました。アルバイト代と貯金だけでは実習に集中できていなかったと思っています。奨学金を頂けたおかげで実習中も生活を送ることが出来ました。

また、子ども食堂や居場所支援の現場へ行きボランティアを行いながら大学での学びと結びつけることで学びを深めて来ましたがこういった事に時間を作れたのも奨学金のおかげです。ありがとうございました。

4年間部活動の硬式野球部を続けることが出来ました。自分自身深い思い出となった試合や、大切な仲間と出会うことができて、充実した部活動となりました。

卒業後はバイク関連の企業に就職します。自分の好きなことの1つでもあるバイクに携わることができる仕事に就けたので、もっとたくさんの人々にバイクライフを通して関わってみたいです。

パルシステムさんの様々な支援のおかげで充実した学生生活を送ることが出来ました。4年間本当にありがとうございました。

私の伴走をしてくれている団体が実施した食育イベントにボランティア参加したときのことが印象深いです。子供達に食育の機会を提供する中で、相手に伝える工夫の重要性を学びました。子供達と共に美味しい料理を作れた事や、彼らが安心して学び、成長できる空間を提供することの意義を実感し、自分もその一員として共に成長できたと感じ、人とのつながりや社会貢献の大切さを深く理解しました。

家庭の経済的な状況が厳しい中で、パルシステムの奨学金を受けられたことに心から感謝しています。私のアルバイト代だけでは生活が困難でしたが、この奨学金のおかげで生活費が確保され、安心して学業に専念することができました。月に一度の相談の機会も精神的な支えとなり、大きな励みになりました。こうした支援を受けたことでより一層、自分も将来、誰かを支えられる存在になりたいと強く思うようになりました。

卒業生には「お祝い」としてパルシステムの食料品や生活用品など、人気商品の詰め合わせを「パルのはこ」で贈りました。



伴走支援団体からの声

～学生のお金の管理について～



2024年度の伴走支援団体連絡会議(伴走支援団体が一同に会して行う)では、「学生自身がお金の管理をしたことがない」「自由にお金を使う経験がこれまでなかった」「お金について学ぶ機会がほしい」等、学生の資金管理についての不安や要望をたくさんいただきました。社会体験プログラム「オンライン家計講座」は伴走支援団体の一つである「特定非営利活動法人 いわき FP・e-らいふ」が講師となって、学生がファイナンシャルプランナーからお金の管理について学ぶ講座となっております。例年参加を希望する学生が多く、伴走支援団体からも「学生が必ず参加するプログラムにして欲しい」というご要望もいただくほど、関心の高い分野となっています。

そして2024年度中には、実際に家計管理の困難に直面した学生の伴走者が「いわき FP・e-らいふ」に直接相談されたこともありました。伴走支援団体どうしのつながりにより、問題の解決に至ったケースです。

生きていくために必要なお金をどうやって得るかということはもちろんですが、どうやって使うかを身につけることも、学生が自立して生きていくうえで必要な力です。学生を支える伴走支援者も、お金の管理に限らず「どうやって学生を支えていくか」の不安や悩みは常にあると話されます。伴走支援団体同士の連携が進むことで、「支える側の」不安も解消され、学生にとってもよりよい支援が行えるのではないかと考えます。

